

京都看護助産学校



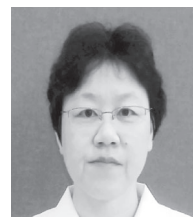
副学校長
前中 由美



看護学科 教育主事
伊藤 睦美



看護学科 教育主事
谷口 秀美



助産学科 教育主事
伊藤 美栄

□ 教育理念

感じる心、考える力、主体的な行動

人間愛を基盤とし、生命の尊厳と人権の尊重ができる感性豊かな人間性を育てることに主眼をおき、看護専門職として必要な基礎的知識、技術、態度を習得し、保健医療福祉の変化に対応できる人材を育成する。

□ 教育目的

看護師若しくは助産師として必要な知識及び技術を教授し、独立行政法人国立病院機構及び社会に貢献し得る有能な人材を育成する。

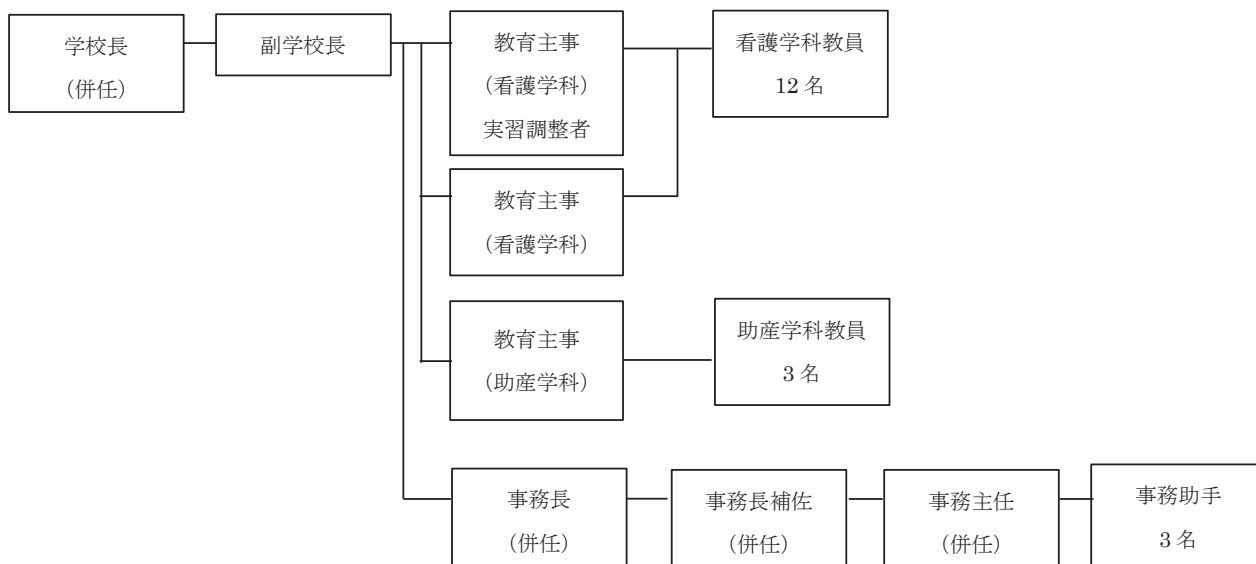
□ 教育目標

1. 生命の尊厳と個々の人権を尊重できる感性豊かな人間性を養う。
2. 看護の対象である人間を身体的・精神的・社会的に統合された存在として幅広く理解し、看護師としての人間関係を形成する能力を養う。
3. 看護師としての責務を自覚し、倫理に基づいた看護を実践する。
4. 科学的根拠に基づき、看護を計画的に実践する基礎的能力を養う。
5. 健康の保持・増進、疾病の予防および健康の回復に関わる看護を、健康状態やその変化に応じて実践する基礎的能力を養う。
6. 保健・医療・福祉システムにおける自らの役割および他職種の役割を理解し、他職種と連携・協働する基礎的能力を養う。
7. 社会の動向に関心を持ち、常に主体的に看護を探究する姿勢と自己研鑽し続ける能力を養う。

□ 課程・定員

課 程	学 科	入学定員	総 定 員	在籍者数(令和2年3月31日)			
				1年生	2年生	3年生	合計
看護専門 課程	看護学科 (3年課程)	80人	240人	84人	74人	89人	247人
看護専門 課程	助産学科 (1年課程)	25人	25人	18人	—	—	18人
計		105人	265人	102人	74人	89人	265人

□本校の組織



□令和元年度 部門目標

部門目標		重点目標
1	国立病院機構及び地域に貢献できる優秀な人材の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・応募者の確保 ・国立病院機構および京都府内への就職者の確保
2	カリキュラム改正を見据え、学生が主体的に学ぶ力を育成できる教育実践能力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・国立病院機構の特色を活かしたカリキュラムの構築 ・教員の教育実践能力の向上
3	学生にとって学びやすい“チーム学校”としての組織の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・高等教育無償化制度利用に向けた準備 ・職員、学生共に尊重した組織体制
4	職員が働きやすい職場環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・超過勤務時間の削減 ・業務の見直し

□令和元年度 プロジェクト活動

働き方改革プロジェクト	活動課題	1. 教員の本来業務に専念できる環境づくり 2. 適正な労働時間管理
	活動内容	1. 研究日の取得状況調査、SWOT分析、業務計画表の活用 2. 業務量1Day調査、超過勤務内容調査
情報管理プロジェクト	活動課題	文書整理および情報管理を適正に行えるように活動する
	活動内容	1. 文書管理規程に基づいた文書整理 2. 適正な情報管理に向けた活動
カリキュラム検討プロジェクト	活動課題	2022年度カリキュラム改正に向けた、当校のカリキュラム開発
	活動内容	1. 教育理念、教育目的、教育目標の見直し 2. 各分野の留意点をふまえた科目編成を考える

□応募・入学状況

<看護学科>

R2.5.1現在

年度(回生)	試験	応募者数	受験者数	合格者数	入学者数	退学者数	卒業者数
平成29年 (第16回生)	推薦(学校)	10	10	10	10		
	推薦(公募)	25	25	24	24	2	
	社会人	28	28	16	15		
	一般	106	103	65	39	1	
	合計	169	166	115	88	3	83
平成30年 (第17回生)	推薦(学校)	19	19	19	19	1	
	推薦(公募)	24	24	20	20		
	社会人	13	13	6	6		
	一般	102	100	55	32	2	
	合計	158	156	100	77	3	
令和元年 (第18回生)	推薦(学校)	19	19	19	19		
	推薦(公募)	17	17	15	15		
	社会人	18	18	12	12	1	
	一般	80	76	58(3)	39	1	
	合計	134	130	104(3)	85	2	
令和2年 (第19回生)	推薦(学校)	11	11	11	11		
	推薦(公募)	15	15	13	13		
	社会人	16	16	12	10		
	一般	66	61	53(2)	26(2)		
	一般(2回目)	14	13	13	13		
	合計	122	116	102	75		

()内補欠合格者、別掲

<助産学科>

R2.5.1現在

年度(回生)	試験	応募者数	受験者数	合格者数	入学者数	退学者数	卒業者数
平成29年 (第49回生)	特別選抜(学校)	11	11	11	11		11
	特別選抜(施設)	0	0	0	0		0
	一般	58	54	18	14	2	12
	合計	69	65	29	25	2	23
平成30年 (第50回生)	特別選抜(学校)	10	10	10	10		10
	特別選抜(施設)	1	1	1	1		1
	一般	60	53	11(4)	11(1)		11(1)
	合計	71	64	22	22		22
令和元年 (第51回生)	特別選抜(学校)	14	14	9	9		
	特別選抜(施設)	2	2	1	1		
	一般	45	35	8(3)	8		
	合計	61	51	18(3)	18		18
令和2年 (第52回生)	特別選抜(学校)	16	16	12	12		
	特別選抜(施設)						
	一般	40	35	6	4(2)		
	合計	56	51	18	18		

()内補欠合格者、別掲

□卒業生の進路

<看護学科>

年度	回生	卒業 者数	就 職							進 学				未就職
			国立病院機構		NC	官公立	法人	その他	看護職 以外	保健師	助産師	養護 教諭	大学	
			自施設	他施設										
平成27年度	第12回生	69	41	17	1	1	4	0	0	0	3	0	2	0
平成28年度	第13回生	82	43	29	1	0	1	1	0	0	6	0	0	1
平成29年度	第14回生	87	42	29	3	1	5	1	0	0	6	0	0	0
平成30年度	第15回生	73	22	29	7	4	3	0	0	0	4	0	1	3
令和元年度	第16回生	88	30	25	3	9	8	0	0	1	8	0	0	4

年度	府内／府外	卒業生数	府内 就職者数	(再掲)		府外 就職者数	進学者	その他
				北部就職者	実習就職者			
平成29年度	府内出身者	53	39	0	37	10	4	
	府外出身者	34	23	0	21	9	2	
平成30年度	府内出身者	51	35	1	31	12	3	1
	府外出身者	22	7	0	7	11	2	2
令和元年度	府内出身者	53	34	0	32	12	4	3
	府外出身者	35	12	0	12	17	5	1

<助産学科>

年度	回生	卒業 者数	就 職						看護職 以外	進学	未就職
			国立病院機構		官公立	法人	その他				
			自施設	他施設							
平成27年度	第47回生	23	4	9	7	2	0	0	0	1	
平成28年度	第48回生	24	4	9	6	5	0	0	0	0	
平成29年度	第49回生	23	2	10	5	6	0	0	0	0	
平成30年度	第50回生	22	2	7	8	5	0	0	0	0	
令和元年度	第51回生	18	4	5	6	3	0	0	0	0	

年度	府内／府外	卒業生数	府内 就職者数		(再掲)				府外 就職者数		進学者	その他
			助産師	看護師	北部就職者		実習就職者		助産師	看護師		
					助産師	看護師	助産師	看護師				
平成29年度	府内出身者	1	1	0	0	0	0	0	0	0		
	府外出身者	22	2	0	0	0	2	0	20	0		
平成30年度	府内出身者	7	6	0	2	0	3	0	1	0		
	府外出身者	15	1	0	0	0	0	0	14	0		
令和元年度	府内出身者	6	5	0	1	0	3	0	1	0		
	府外出身者	12	3	0	0	0	2	0	9	0		

□国家試験合格状況

<看護学科>

		全体 (%)	機構附属 (%)		
			全国	近畿	本校
106回 (H29.3)	全体 (新卒)	88.5 (94.3)	88.5 (94.3)	98.6	96.8
107回 (H30.3)	全体 (新卒)	91.0 (96.3)	98.4 (98.8)	99.7	100
108回 (H31.3)	全体 (新卒)	89.3 (94.7)	97.3 (98.1)	99.0	95.9
109回 (R2.3)	全体 (新卒)	89.2 (94.7)	97.3 (98.2)	98.5	96.6

<助産学科>

		全体 (%)	機構附属 (%)	
			全国	本校
100回 (H29.3)	全体 (新卒)	99.8 (99.8)	100	100
101回 (H30.3)	全体 (新卒)	98.7 (99.4)	100	100
102回 (H31.3)	全体 (新卒)	99.6 (99.9)	100	100
103回 (R2.3)	全体 (新卒)	99.4 (99.5)	100	100

□入学試験実施状況

看護学科	一次試験	二次試験	合格発表
一般入試	令和2年1月23日(木)	令和2年1月25日(土)	令和2年1月30日(木)
社会人入試	令和元年11月14日(木)	令和元年11月16日(土)	令和元年11月21日(木)
公募推薦入試	令和元年11月14日(木)	令和元年11月16日(土)	令和元年11月21日(木)
推薦入試	令和元年11月14日(木)		令和元年11月21日(木)

助産学科	一次試験	二次試験	合格発表
一般入試	令和2年1月23日(木)	令和2年1月25日(土)	令和2年1月30日(木)
特別選抜入試	令和元年11月14日(木)		令和元年11月21日(木)

□学生募集活動

<ガイダンス>

月	日	曜	内容	場所	出席者	実績数
4月	11	木	TAP主催京都精華学園高等学校	みやこめっせ	谷口	4人
	27	土	京都府看護協会・学校協議会主催 看護職就職・就学合同フェア	みやこめっせ	前中、谷口	25人
	29	月	さんぼう主催進学説明会	メルパルク	伊藤睦	23人
5月	15	水	ケーハウ主催京都府立亀岡高等学校	亀岡高校	谷口	15人
	31	金	TAP主催京都廣学館高等学校	けいはんなプラザ	太田	6人
6月	9	日	さんぼう主催宣真高等学校	梅田スカイビル	伊藤睦	6人
7月	5	金	高等学校と看護系教育機関との進路研修会	京都府立医科大学	前中、谷口	
	17	水	昭栄広報主催京都府立北嵯峨高等学校	みやこめっせ	伊藤睦	9人
	17	水	TAP主催京都府立木津高等学校	当校	谷口、太田	8人
	24	水	ふれあい看護体験(南京都病院)	南京都病院	谷口	14人
8月	7	水	ふれあい看護体験(宇多野病院)	宇多野病院	谷口	9人
10月	9	水	TAP主催京都府立田辺高等学校	文化パルク城陽	谷口	4人
	23	水	TAP主催京都府立木津高等学校	けいはんなプラザ	谷口	6人
	29	火	中学生チャレンジ体験(藤森中学)	当校	谷口、太田	4人
	31	木	エフォール主催京都府立福知山高等学校	福知山高校	谷口	9人

11月	6	水	中学生チャレンジ体験(深草中学)	当校	谷口、太田	2人
	12	火	中学生チャレンジ体験(西京中学)	当校	谷口	3人
12月	17	火	TAP主催滋賀県立堅田高等学校	ピアザ淡海	谷口	7人
2月	12	水	比叡山高等学校	比叡山高校	谷口	15人
3月	6	金	京都国際高等学校	京都国際高等学校		中止
	18	水	TAP主催進学説明会(大津高校)			中止

<高校訪問>

	都道府県別訪問校 (新規再掲)	訪問校数 (指定校再掲)	内容
6月	京都府31校(4校) 滋賀県 9校(6校)	40校(26校)	学校説明 入学試験の説明 看護系進学予定者・主な進路の確認 情報交換
1・2月	京都府26校(2校) 滋賀県13校(6校) 大阪府 2校(2校)	41校(23校)	学校説明 入学試験の説明 看護系進学予定者・主な進路の確認 高校の進路指導方針の確認 情報交換
延べ訪問高校数 81校 (新規 20校)			

<オープンキャンパス>

(1) 高校教員対象

学 科	日 程	参加者数	内 容
看護学科	2019年5月30日(木)	11名	学校説明 入学試験の説明 情報交換 校舎内見学 病院見学

(2) 応募者対象

学 科	日 程	参加者数	学生体験参加 者再掲	内 容
看護学科	2019年 7月21日(日)	148名	72名	学校説明 学校生活の紹介 入学試験の説明 校舎内見学 看護学生体験 呼吸音聴取、衛生的な手洗い 看護学生との交流
	2019年 8月25日(日)	128名	48名	
	2019年 9月28日(土)	38名	25名	
	2019年10月19日(土)	29名	16名	
	計	354名	161名	
助産学科	2019年7月21日(土)	51名	51名	学校説明 学校生活の紹介 入学試験の説明 校舎内見学 助産学生体験 モデル人形による分娩介助
	2019年8月17日(土)	44名	44名	
	2019年8月 25日(土)	52名	52名	
	計	147名	147名	

□研究活動

<学会発表>

日程	学会名	テーマ	研究者(○発表)
2019年 10月11日-12日 Web学会	第60回日本母性衛生学会	実習前の妊婦健診OSCEがもたらす助産学生への教育効果の検討	○伊藤 美栄 北井 英子, 林田 聖子
2019年 11月8日-9日	第73回国立病院総合医学会	実習時期別にみた助産学生の分娩期ケア能力到達度	○北井 英子 林田 聖子, 伊藤 美栄
2019年 12月14日	第17回国立病院看護研究学会	母性看護学実習におけるリプロダクティブヘルス/ライツの学びの内容	○住田 尚子 北井 英子, 林田 聖子
2019年 12月14日	第17回国立病院看護研究学会	生活環境から対象理解するための訪問看護実習前研修の導入の効果	○太田 恵子 仙波 伊知子
2020年 3月21日-22日 Web学会	第34回日本助産学会学術集会	一般市民と助産学生による模擬患者の参画を得た妊婦健診OSCEに対する受験学生の評価	○他校教員 伊藤 美栄, 北井 英子 林田 聖子, 柚木 麻央
2020年 3月21日-22日 Web学会	第34回日本助産学会学術集会	実習前の助産学生への妊婦健診シミュレーション教育及び妊婦健診OSCEの教育成果	○柚木 麻央 伊藤 美栄, 北井 英子 林田 聖子
2020年 3月21日-22日 Web学会	第34回日本助産学会学術集会	卒業前の助産学生への分娩介助OSCEのトライアル	○林田 聖子 伊藤 美栄, 北井 英子
2020年 3月21日-22日 Web学会	第34回日本助産学会学術集会	一般市民と助産学生による模擬患者の参画を得た妊婦健診OSCEに対する受験学生の評価	○他校教員 伊藤 美栄, 北井 英子, 林田 聖子, 柚木 麻央

<執筆・論文投稿>

収録誌	出版社	タイトル	教員(○筆頭)
日本助産学会誌 第39巻第2号.2019	日本助産学会	助産師教育課程修了時の分娩期の実践応力を評価するOSCEの検討～卒業前の助産学生へのトライアル～	○伊藤 美栄

<令和元年度 京都医療センター成果発表会>

日程	テーマ	研究者(○発表)
2020年3月14日	実習前の助産学生への妊婦健診シミュレーション教育及び妊婦健診OSCEの教育成果	○柚木 麻央 伊藤 美栄, 北井 英子, 林田 聖子
2020年3月14日	卒業前の助産学生への分娩介助OSCEのトライアル～卒業後を想定した課題設定～	○林田 聖子 伊藤 美栄, 北井 英子

<副学校長・教育主事協議会 研修グループ>

	テーマ	副学校長・教育主事
1.2年目看護教員育成	1.2年目教員の「教育実践能力」「コミュニケーション能力」の向上を図る	前中 由美, 谷口 秀美 他校教育主事
中堅看護教員の育成	職場のミドルリーダーとしての役割の果たし方を考え、学校管理・運営能力を高める	伊藤 美栄 他校副学校長 他校教育主事
卒業生調査	近畿グループ所属病院附属看護学校 卒業後在籍者調査	伊藤 睦美 他校副学校長 他校教育主事

<教員研修会 研究グループ>

	テーマ	教員
1G	臨地実習での看護援助の実施における学生の困難感とその対処方法	大上 寿子, 榮 圭子 伊藤 智美
京都 2G	臨地実習で看護過程の展開を行った学生への困難感について	中村 なぎさ 寺田 博子
京都1G	訪問看護実習において学生が対象の生活環境から対象理解するための実習前研修の効果	太田 恵子 仙波 伊知子
京都2G	成人看護学実習における成人期の対象理解を促進するためのカンファレンスに関する研究	住田 尚子, 寺田 美鳥 晝間 梓
京都3G	卒業時における看護実践能力の評価	近藤 尚子 稲垣 寿美
京都 4G	助産学生の妊婦健康診査実践能力向上に向けた取り組みに対する教育成果の検討	柚木 麻央, 北井 英子 林田 聖子

<授業研究>

日程	授業内容	教員
2019年 6月 24日	看護学科 基礎看護技術Ⅰ「無菌操作(演習)」	榮 圭子
2019年 8月 28日	看護学科 基礎看護技術Ⅳ「バイタルサイン測定(演習)」	晝間 梓
2019年 9月 5日	看護学科 老年看護学実習Ⅱ(終末期) 「対象理解を深めるカンファレンス」	稲垣 寿美
2019年 9月 30日	看護学科 成人看護学演習 「胃切除を受けた患者の看護(演習)」	中村 なぎさ
2019年10月 1日	看護学科 成人看護学実習Ⅲ(周手術期) 「手術室の環境・看護師の役割」	住田 尚子
2019年11月21日	看護学科 老年看護学演習Ⅱ 「徘徊をする認知症高齢者の看護(講義)」	稲垣 寿美
2019年11月25日	看護学科 基礎看護技術Ⅵ「内服薬の与薬(演習)」	寺田 美鳥
2019年11月29日	看護学科 基礎看護技術Ⅴ「採血(演習)」	大上 寿子
2019年12月 2日	看護学科 看護の統合と実践Ⅳ 「事例の状況に応じた知識の統合と看護の実践(演習)」	近藤 尚子
2020年 2月 14日	看護学科 看護過程の展開技術「看護計画の立案」	太田 恵子
2020年 2月 27日	看護学科 成人看護学実習Ⅰ(急性期)「急性期看護について」	仙波 伊知子
2020年 2月 27日	看護学科 老年看護学実習Ⅰ(慢性期) 「対象の反応から実施した援助に対する評価修正について」	寺田 博子
2020年 3月 2日	看護学科 老年看護学実習Ⅰ(慢性期) 「地域社会で生活する上で必要な支援について」	伊藤 智美
2019年 5月 23日	助産学科 妊婦健康診査シミュレーション	柚木 麻央
2020年 2月 20日	助産学科 卒業前分娩介助OSCE	北井 英子 伊藤 美栄 柚木 麻央 林田 聖子

□研修受講

<近畿グループ>

日程	主催	研修内容	参加人数
2019年 7月3日、4日	近畿グループ	新任中間監督者研修	1名
2019年9月9日	近畿グループ	初期教員研修(Ⅰ期)	1名
2019年12月9日	近畿グループ	初期教員研修(Ⅱ期)	1名
2019年8月1日	副学校長・教育主事・教員 夏期合同研修会	ハラスメント防止研修 ～ハラスメントのない職場づくり～ 講師：株式会社インソース 川見 敦子 先生	19名
2019年12月24日	近畿グループ	中堅看護教員研修 「信頼関係を築くコミュニケーション～コーチングからのヒント～」 講師：(株)ソルナ・クリエイト 代表 大川郁子 先生	12名

<副学校長・教育主事協議会>

(1) 中堅看護教員研修

日程	研修内容	担当	参加者
2019年9月17日	職場における働き方に関して課題となる事象についての問題抽出、必要な役割の果たし方の共有	伊藤 美栄	中村 なぎさ 柚木 麻央
2020年2月28日*	自校の職場における課題への取り組みの発表・共有、自校の職場環境や各教員間の課題・問題の見直しと今後の自己の役割の果たし方の明確化	* 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止し、各校で発表やまとめを行った。	

(2) 1,2年目教員研修

日程	研修内容	担当	参加者
2019年6月24日	・ 授業参観:「滅菌物の取扱い」(演習) ・ リフレクション	前中 由美 谷口 秀美	晝間 梓
2019年11月25日	・ 授業のサポート教員体験:内服薬の与薬」(演習) ・ 看護教員ラダーを用いた教育実践能力の評価	前中 由美 谷口 秀美	晝間 梓

<学校>

(1) 実務研修

日程	研修内容	教員
2019年 4月2,3,5,8,11日	京都医療センター 病棟看護管理の実際 周産期看護の実際	太田 恵子
2019年 8月8,9,15日	京都医療センター 病棟看護管理の実際 周産期看護の実際	榮 圭子
2019年 8月8,13,21日	京都医療センター 病棟看護管理の実際 病棟での看護実践	伊藤 智美
2019年 8月9日、13日	京都医療センター 病棟看護管理の実際 病棟での看護実践	晝間 梓
2019年 8月8日、9日	京都医療センター 地域連携支援センターにおける病床管理の実際	寺田 美鳥
2019年 9月18日、20日	京都医療センター 教育担当看護師長による現任教育の実際	寺田 美鳥
2019年 8月6日、7日	京都医療センター 病棟看護管理の実際 周手術期看護の実際	中村 なぎさ
2019年 8月14日	京都医療センター 医療安全管理係長による安全管理の実際	中村 なぎさ
2019年 8月21日、22日	京都医療センター 訪問看護における看護管理の実際	寺田 博子
2019年 8月6日、20日	京都医療センター 地域連携支援センターにおける病床管理の実際	稲垣 寿美
2019年 8月20,21,22日	京都医療センター 病棟看護管理の実際 病棟での看護実践	大上 寿子

2019年 8月15日、30日	京都医療センター	病棟看護管理の実際	住田 尚子
2019年 9月4,11,18,20日	京都医療センター	教育担当看護師による現任教育の実際	太田 恵子
2019年 10月9日、11日	やまと精神医療センター	訪問看護における看護管理の実際	住田 尚子
2019年 8月21日	京都医療センター	病棟での看護実践	近藤 尚子
2019年 10月9日、11日	やまと精神医療センター	訪問看護における看護管理の実際	近藤 尚子
2019年 9月12日、13日	京都医療センター	医療安全管理係長による安全管理の実際	北井 英子
2019年 9月9日、10日	京都医療センター	看護管理の実際	柚木 麻央
2019年 8月14日	京都医療センター	医療安全管理係長による安全管理の実際	林田 聖子

(2) 学内講習

日 程	研修内容	担 当	参加者
2019年 5月 9日	講義「OSCEと臨床推論」	伊藤 美栄	看護職員 1名 教員 5名 他大学 1名 計 7名

□社会への貢献

<公開講座>

日 程	テーマ	参加者数
2019年 8月 5日	公開講座「危険!無理なダイエット」 健康チェック	16名
2019年 8月31日	性教育講座(小中高生対象) 「あなたのキセキのものがたり」	17名
2019年 9月21日	ファミリー教室(妊産婦とその家族) 「Welcome to My family ～育む家族の輪～」	26名
2019年10月19日	公開講座「危険!無理なダイエット」 健康チェック	4名
合計		63名

<講習会、研修等の講師派遣>

日 程	研修内容	教員
2019年 6月 6日	主催：近畿グループ 2019年度 保健師助産師看護師 実習指導者講習会 「実習指導者の役割」講師	前中 由美
2019年 6月18日	主催：近畿グループ 2019年度 保健師助産師看護師 実習指導者講習会 「カンファレンス」講師	谷口 秀美
2019年 7月10日 7月16日 7月23日	主催：近畿グループ 2019年度 保健師助産師看護師 実習指導者講習会 「実習指導の評価」講師	伊藤 睦美
2019年 6月14日	主催：近畿グループ 2019年度 保健師助産師看護師 実習指導者講習会「母性看護学」講師	伊藤 美栄
2019年 6月25日 7月 3日 7月18日 7月31日	主催：近畿グループ 2019年度 保健師助産師看護師 実習指導者講習会 演習指導	寺田 博子

2019年 6月19日	主催：京都府看護協会 2019年度 京都府専任教員養成講習会 「看護教育課程論(助産師課程)」	伊藤 美栄
2019年 5月16日 6月19日 12月11日	主催：京都医療センター附属京都看護助産学校 実習指導者研修プログラム (第1回～第3回)	前中 由美 伊藤 睦美 谷口 秀美 住田 尚子 仙波 伊知子 太田 恵子 寺田 博子 晝間 梓
2019年 8月5日 8月9日 8月19日 8月23日 9月2日 9月5日	主催：京都府看護協会 2019年度 京都府専任教員養成講習会	大上 寿子
2019年 7月22日	主催：独立行政法人国立病院機構南京都病院 現任教育レベルⅢ研修シンポジスト	太田 恵子
2019年 8月5日 10月19日	主催：京都医療センター附属京都看護 助産学校 公開講座：「危険!無理なダイエット」	北井 英子
2019年 9月17日	副学校長・教育主事協議会 2019年度 第1回中堅看護教員研修グループ討議 助言講師	伊藤 美栄
2019年 7月27日、28日	主催：全国助産師教育協議会 2019年度 ファーストステージ研修 「助産師教育方法論 -教育評価-」(公開講座)	伊藤 美栄
2019年 8月10日	主催：全国助産師教育協議会 北海道・東北ブロック 助産実践能力習熟段階レベルⅢ認証制度 研修 「臨床推論」	伊藤 美栄
2019年 10月26日	主催：岐阜県看護協会 助産実践能力習熟段階レベルⅢ認証制度 研修 「臨床推論」	伊藤 美栄

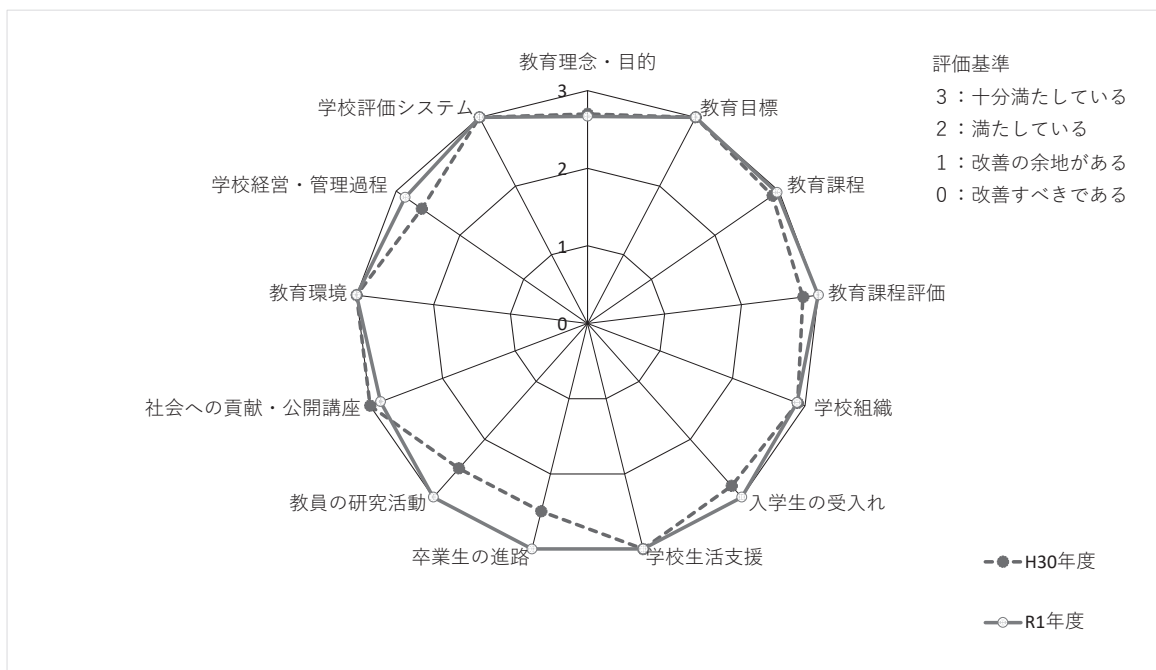
<研修生受け入れ>

日程	研修内容		受け入れ数
2019年 7月17日～18日	教員インターンシップ	実習指導見学 会議参加 行事参加	1名
2019年 9月19日～20日	教員インターンシップ	講義見学 実習指導見学 会議参加	1名
2019年 11月19日～22日	教員インターンシップ	講義見学 演習見学 実習指導見学 臨床との連携調整場面見学 会議参加	1名
2019年 10月28日、31日 12月5日、8日	教員インターンシップ	講義見学 演習見学 実習指導見学 臨床との連携調整場面見学 会議参加	2名
2019年 10月16日、17日 10月28日～31日	京都府専任教員養成講習会	講義見学 演習見学 授業実施 実習指導見学・実施 会議見学	2名

学校評価の実施

当校では、教育活動の質の向上をはかり、地域社会及び学生から寄せられる期待に応えるために、平成19年から自己点検・自己評価を実施しています。評価表は27年度に見直しを行い、13領域、110項目について、より客観性のあるフィードバックが得られるように改訂しました。

令和元年度は国立病院機構近畿グループ5校の副学校長・教育主事・教員による学校相互評価を実施し、更なる教育の充実を目指しています。

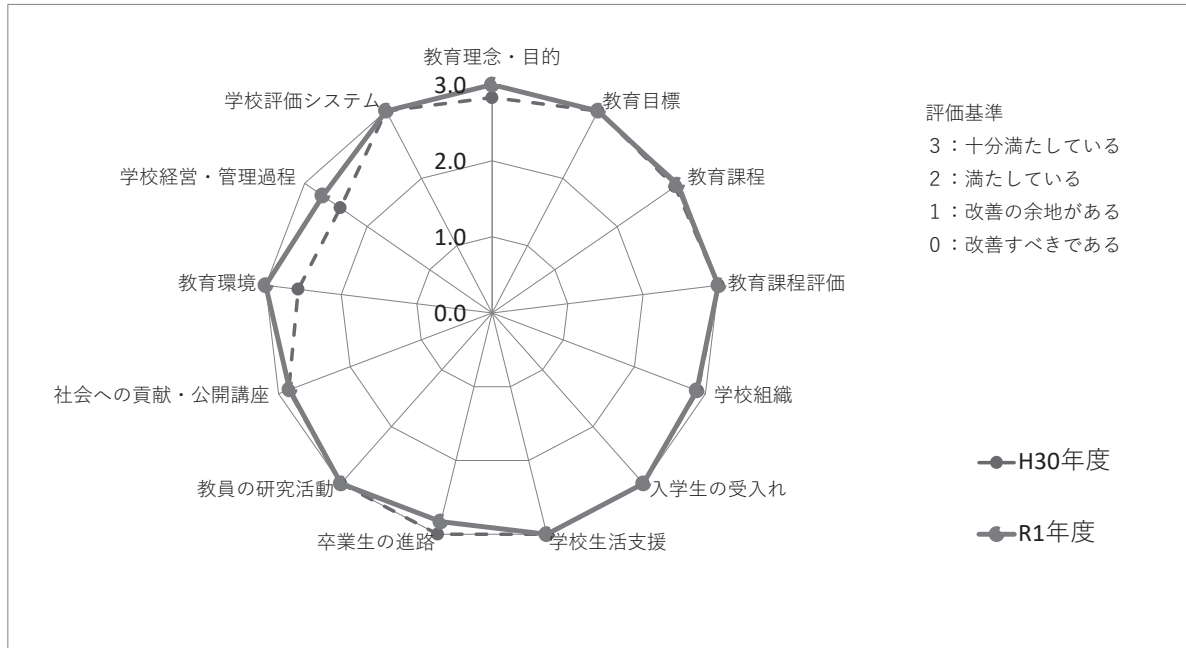


評価項目	評価の視点	R1年度	H30年度
I 教育理念・目的	学校の教育理念・教育目的は明文化され、教職員および学生に浸透し、卒業時点での学生像に反映されているかについて評価します。	2.7	2.7
II 教育目標	教育理念・目的・教育目標の一貫性および卒業教育との継続性を考慮した目標設定であり、教員・学生が共有できているかについて評価します。	3.0	3.0
III 教育課程	教育課程の編成について独自性、整合性、ニーズへの対応などの観点から科目が挙げられているか、講義・実習の内容に妥当性があり、教育の質向上のために工夫し、計画的に進められているかについて評価します。	3.0	2.9
IV 教育課程評価	自己および学生による授業評価の実施と改善の取り組み状況について評価します。	3.0	2.8
V 学校組織	学校の組織体制について人員配置および意思決定システムが適正であるかと防災対策や個人情報保護について評価します。	2.9	2.9
VI 入学生の受入れ	自校の教育理念に基づいた入学選抜試験の適正な運用と実施状況の分析、検証状況について評価します。	3.0	2.8
VII 学校生活支援	学生の生活支援体制について、健康管理、プライバシー保持、自治会活動、関係者との調整の観点から整備されているかについて評価します。	3.0	3.0
VIII 卒業生の進路	卒業時の到達状況、進路、国家試験の合格状況を分析し、教育活動に生かしているかについて評価します。	3.0	2.5
IX 教員の研究活動	教員の研究活動の実施状況および支援体制について評価します。	3.0	2.5
X 社会への貢献・公開講座	公開講座やボランティア等、地域社会のニーズをふまえた社会貢献、近隣関連施設との情報交換等、地域との交流状況、また、国際的視野をふまえた教育体制等について評価します。	2.9	3.0
X I 教育環境	施設設備などの学習環境の整備状況について評価します。	3.0	3.0
X II 学校経営・管理過程	教育活動について将来構想をもとに計画的に管理・運営しているかについて評価します。	2.9	2.6
X III 学校評価システム	自己点検・自己評価システムの整備状況や運用について評価します。	3.0	3.0
全体平均		2.9	2.8

学校評価の実施

当校では、教育活動の質の向上をはかり、地域社会及び学生から寄せられる期待に応えるために、平成19年から自己点検・自己評価を実施しています。評価表は27年度に見直しを行い、13領域、110項目について、より客観性のあるフィードバックが得られるように改訂しました。

令和元年度は国立病院機構近畿グループ5校の副学校長・教育主事・教員による学校相互評価を実施し、更なる教育の充実を目指しています。



	評価項目	評価の視点	R1年度	H30年度
I	教育理念・目的	学校の教育理念・教育目的は明文化され、教職員および学生に浸透し、卒業時点での学生像に反映されているかについて評価します。	3.0	2.8
II	教育目標	教育理念・目的・教育目標の一貫性および卒業後教育との継続性を考慮した目標設定であり、教員・学生が共有できているかについて評価します。	3.0	3.0
III	教育課程	教育課程の編成について独自性、整合性、ニーズへの対応などの観点から科目が挙げられているか、講義・実習の内容に妥当性があり、教育の質向上のために工夫し、計画的に進められているかについて評価します。	3.0	2.9
IV	教育課程評価	自己および学生による授業評価の実施と改善の取り組み状況について評価します。	3.0	3.0
V	学校組織	学校の組織体制について人員配置および意思決定システムが適正であるかと防災対策や個人情報保護について評価します。	2.9	2.9
VI	入学生の受入れ	自校の教育理念に基づいた入学選抜試験の適正な運用と実施状況の分析、検証状況について評価します。	3.0	3.0
VII	学校生活支援	学生の生活支援体制について、健康管理、プライバシー保持、自治会活動、関係者との調整の観点から整備されているかについて評価します。	3.0	3.0
VIII	卒業生の進路	卒業時の到達状況、進路、国家試験の合格状況を分析し、教育活動に生かしているかについて評価します。	2.8	3.0
IX	教員の研究活動	教員の研究活動の実施状況および支援体制について評価します。	3.0	3.0
X	社会への貢献・公開講座	公開講座やボランティア等、地域社会のニーズをふまえた社会貢献、近隣関連施設との情報交換等、地域との交流状況、また、国際的視野をふまえた教育体制等について評価します。	2.9	2.9
X I	教育環境	施設設備などの学習環境の整備状況について評価します。	3.0	2.6
X II	学校経営・管理過程	教育活動について将来構想をもとに計画的に管理・運営しているかについて評価します。	2.7	2.4
X III	学校評価システム	自己点検・自己評価システムの整備状況や運用について評価します。	3.0	3.0
全体平均			2.9	2.9

令和元年度 学校関係者評価

1. 学校関係者評価の目的

- 1) 教育に関する知見を有する者、臨地実習施設の関係者、看護管理者経験者、卒業生などの学校関係者から、学校運営・教育活動の現状における課題について助言を得ることで、学校運営の継続的な改善を図る。
- 2) 学校関係者との連携協力により、特色のある学校づくりを推進する。

2. 学校関係者評価委員名簿

規 程	所 属 氏 名
教育に関する知見を有する者	京都教育大学 教育学科 教授 相澤 伸幸
臨地実習施設の関係者	京都医療センター 看護部長 池田 仁美
看護管理者経験者	洛和会ヘルスケアシステム 洛和会本部採用教育課 部長 伊藤 文代
卒業生(一定のキャリアを持つ者)	京都医療センター 看護師長 橋本 恵

3. 学校関係者評価委員会の実施状況

実施日時:令和2年2月17日 14:00～15:30

実施場所:京都看護助産学校 会議室

4. 学校関係者評価委員会の実施方法

- 2019年度の自己点検・自己評価結果の報告
- 2019年度の重点目標についての取り組みを報告
- 学校関係者の皆様と今後の取り組みと課題について、検討する

5. 総評

○募集活動について

- ・看護学科の募集は、京阪沿線の大阪方面の看護系大学も競合校として検討したほうがよい。
- ・高校生だけでなく、中学生への働きかけをしてはどうか。
- ・社会人学生の確保対策はどうしているのか。
→「専門実践教育訓練給付制度」の活用できるが、本校としてはまずは現役生の確保に努め、状況をみて検討したい。

○教員の研究活動について

- ・教員の研究活動日の確保、教員1人ひとりに研究助成金が活用されており、よい環境が整っている。
- ・授業研究などの成果は学校での紀要として冊子に残しておかれてはどうか。

○学校目標について

- ・学校目標はディプロマポリシーのような(学生目線での)表現にしてはどうか。

○卒業生の評価について

- ・卒業生を受け入れた先の上司からの評価も大切である。
→国立病院機構では看護部長と副学校長・教育主事が合同会議を持っており、様々な意見交換を行っている。その機会を活用したい。

今年度より初めて学校関係者評価が行われ、今後継続して取り組むべき課題や改善策が見出されたことは大変意義がある。貴校は70年以上の歴史があり、多くの卒業生を輩出されている。卒業生は国立病院機構の病院をはじめ、全国の病院等でリーダーシップを発揮して活躍されている。質の高い教育をされている実績があり、地域からの信頼もある学校である。今後は、強みや特徴をもっとアピールし、さらに発展していかれることを望む。